

■公共図書館での実践事例

「わいわい文庫」と図書館からの情報発信

東京都新宿区立戸山図書館
谷口 絵莉子

新宿区立戸山図書館について

当館は、新宿区立図書館における障害者サービスの拠点館として、障害などにより本をそのままでは利用できない方のためにさまざまなサービスを実施しています。録音図書“DAISY”の貸出や音訳ボランティアと協働してのリクエスト図書製作のほか、来館が困難な方のための家庭配本（本の宅配）、誰もが楽しめるLLブックやマルチメディアDAISY図書の収集・貸出も行っていきます。毎年、伊藤忠記念財団の「わいわい文庫」マルチメディアDAISY図書を蔵書として受け入れ、幅広い方々に情報を伝えるための情報発信に活用しています。

はじめに

2019年に読書バリアフリー法が施行され、読書にバリアがある方への環境改善への意識がじわじわと高まりつつあります。しかし、活字による読書がむずかしい子どもの推定者数に対し、まだマルチメディアDAISY図書の周知が充分行きわたったとは言えません。

地域の図書館としても、この読書バリアフリー法をよりよく推進するために、マルチメディアDAISY図書を研究し、内外に広めていく必要があります。新しく本に出会う子どもたちのためにも、継続すべきことは引き続き行い、新たな発信方法を模索します。

事例紹介

(1) カウンター前展示

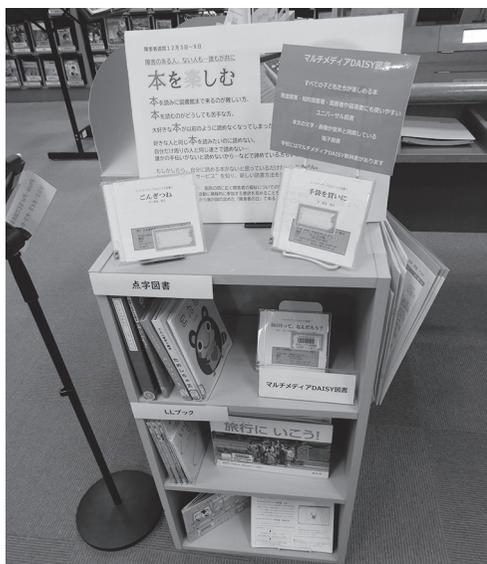


マルチメディアDAISY関連の展示

展示期間：通年

展示内容：「わいわい文庫」ブルー版のデータが入ったタブレット端末、「わいわい文庫」ほか一般の利用者にも貸出可能なマルチメディアDAISY図書をカウンター前にて展示。パスファインダーを更新。

通常のマルチメディアDAISY図書の展示に加え、今年2021年は障害者週間(12月3日～9日)にあわせて障害者サービスを紹介する新しいパネルを追加しました。タブレット端末のコーナーを常設し、立ち寄った利用者が自由に読める形にしています。



障害者週間にあわせて追加した、バリアフリー図書の紹介展示

戸山図書館では、平日1日2回の除菌時間を設けており、その都度アルコールで消毒しながら、できるだけ利用者の目に触れる場所に置いています。

興味をもった子どもが覗いたり、小さな子どものいるお母さんや関心を持った年配の利用者にもご質問をいただきます。

また、わいわい文庫だけでなく、当館所蔵のマルチメディアDAISY図書の貸出数が昨年1月より伸び始めており、一緒に利用方法のご案内をお渡ししたところ好評をいただきました。今後も本展示を随時更新していきます。

(2) 外部機関からの取材対応や教材としての活用

今年は、これまで問い合わせのなかった出版社など、外部の教育関係機関の方からマルチメディアDAISY図書についての問い合わせを複数受けました。社団法人出版文化産業振興財団が発行している雑誌『この本読んで！2021春』で紹介記事を掲載いただいたほか、児童書を発行する出版社からの複数の問い合わせや取材にも応じました。

また、絵本専門士の方から当館の所蔵する資料の貸出依頼があり、布絵本を貸し出し「わいわい文庫」も紹介しています。教材としてもマルチメディアDAISY図書が注目を集めていることは、大変喜ばしいことと思います。今後もこうした問い合わせにできるだけ対応し、支援の輪を広げていくことを考えています。

(3) 新宿区立戸山図書館での「マルチメディアDAISYおはなし会&リーディングトラッカー作り」

戸山図書館では、恒例のマルチメディアDAISYおはなし会を今年も1回実施しました。

開催日時：2021年12月11日（土）

14:00～15:00

場所：戸山生涯学習館 学習室C

参加人数：子ども3人 大人3人

計：6人

内容：学習室の一室を使用し、わいわい文庫2021より、『かぞえてみよう』『トラ猫ばやし』をプロジェクターで上映。同時にリーディングトラッカーの工作会も実施。

新型コロナウイルスへの警戒のためおはなし会が制限される中、2021年も12月に実施できました。

まず導入に、絵本『さかさまになっちゃうの』（クレア・アレクサンダー作／福本友美子訳／BL出版）を読み聞かせ、字を書くことがむずかしい子どものお話を聞いてもらいました。

つぎに、ホワイトボードにパソコンの画面をプロジェクターで大きく映し、わいわい文庫を上映。児童室に貼られたポスターに子どもが興味をもち、参加したいと申し出たこともあり、どの子どもも積極的に最後まで参加してくれました。

前半、再生トラブルに見舞われ、『かぞえてみよう』一作のみの上映となりましたが、親子一緒に興味と関心をもって見てくれました。

＼やってみようバリアフリーな読書／
マルチメディアDAISYおはなし会
& リーディングトラッカー作り
12月11日（土曜）
14:00～15:00
会場：戸山生涯学習館 学習室C
参加費無料

マルチメディア DAISY

- ・読んでいる部分にハイライトを入れる
 - ・文字の大きさを調節する
 - ・読み速の速さや文字の大きさの調節
 - ・文字や背景の色を変更する
- などができる音声付きの電子書籍です。
白い背景に黒い字が読みづらい、
もっと文字を大きくしたい
といった場合にも対応できます！



リーディングトラッカー

- ・視覚障害のある人の読書をサポートする
読書補助具の一つです。書き留めたい
部分にも使えます。クリアファイルとマ
スキングテープを使って手作りします。



11月26日（金曜日）より予約受付開始
中学校3年生までの方 定員7名
お問い合わせは、戸山図書館カウンター
またはお電話にて（☎03-3207-1191）
Toyama Library 指定管理者：TRC図書館連携センター

マルチメディアDAISYおはなし会ポスター



「わいわい文庫」上映の様子

後半は、親子一緒にリーディングトラッカー作りを行い、手を動かしながら楽しく学んでいる様子でした。



リーディングトラッカー作り

最後にiPadにインストールされた「ボイス オブ デイジー」でわいわい文庫を実際に読んでいただき、触ってもらったところ、「すごい！」と新鮮な反応をいただきました。

アンケートも全員が「とても良かった」と回答、「いい経験になった」とコメントもいただき、大変好評のまま終わることができました。

今後の展望

これまでパネルや実物の展示を続けてきたことによって、一般の利用者への周知が少しずつ広がりつつあります。戸山図書館の利用者アンケートでは、「マルチメディアDAISY図書の貸出について知っているか」という項目における「はい」の回答は約13%でした。(2020年度分集計より)

来年度はさらに増やしていけるよう、今後も内容を更新し、情報発信を続けます。

今年は関係機関からの「わいわい文庫」やマルチメディアDAISY図書への問い合わせ・貸出が多く、連携や周知を進めるための足がかりになりました。また、おはなし会やイベントへの制限が解除されれば、ぜひマルチメディアDAISYおはなし会の実施を増やし、地域内での共有を図っていきたいと考えています。

